

令和元年度 第3回 評議会事前資料－4

全国支部長会議資料

「令和元年度上期の総括と下期の方針」

令和元年9月25日



全国健康保険協会 山梨支部  
協会けんぽ

# 全国支部長会議資料

## 「令和元年度上期の総括と下期の方針」

令和元年9月25日



全国健康保険協会  
協会けんぽ

- 令和元年度は、地域医療構想の実現に向けた更なる取組の推進や、令和2年度の診療報酬改定、骨太の方針2020の策定に向けて意見発信を強化していく年度である。
- 協会においても、昨年度からスタートした保険者機能強化アクションプラン（第4期）及び保健事業実施計画（第2期）について、各取組の状況をKPIの達成状況等により把握・検証し、各取組を着実に実施することにより、保険者機能の発揮を確実なものとしていくことが必要である。また、今後の現金給付等に係る業務処理体制全体の見直しを行う業務改革検討プロジェクトも推進していく必要がある。
- このような令和元年度の位置づけを踏まえ、上期の総括と下期の方針は次頁以降のとおりである。各支部におかれは、下期も引き続き取組を加速化していただきたい。

【令和元年度の運営の基本方針】

- ① 戦略的保険者機能の強化
- ② 基盤的保険者機能の推進
- ③ 組織・運営体制の強化

## 1. 戦略的保険者機能の強化

■ 保険者機能強化アクションプラン(第4期)、保健事業実施計画(第2期)に基づく取組を着実に実施するとともに、将来を見据えた戦略的な事業展開を図る。

### 上期の総括

- 保険者機能強化アクションプラン(第4期)、保健事業実施計画(第2期)等の2年目
- 「支部保険者機能強化予算」の導入
- パイロット事業等に基づく先進的な取組
  - ・ 令和元年度は12事業を実施
- ジェネリック医薬品の更なる使用促進
  - ・ 「ジェネリック医薬品使用促進ツール活用ガイドライン」を提供
- 保健事業実施計画(第2期)の確実な実施
  - ・ 生活習慣病予防健診事務の効率化
  - ・ 健康宣言事業所数32,223社(6月時点)
- インセンティブ制度の本格実施



### 下期の方針

- 保険者機能強化アクションプラン(第4期)の達成に向けたPDCAサイクルの強化
- 評議会意見や令和元年度の取組結果を踏まえるとともに、保険者機能強化アクションプラン(第4期)の最終年度を見据えた事業計画及び予算を検討
- 平成30年度パイロット事業の効果検証と速やかな全国展開の実施及び令和2年度パイロット事業の選定
- 「ジェネリック医薬品使用促進ツール活用ガイドライン」を活用した、支部の実情や課題に合わせた更なる取組の推進
- 保健事業実施計画(第2期)の着実な実施
  - ・ 生活習慣病予防健診申込書の廃止
  - ・ 「健診・保健指導カルテ」を活用した受診勧奨等の実施
  - ・ 関係機関(健診機関、自治体、事業者団体等)との連携の促進
  - ・ 外部委託及び健診当日の初回面談を活用した特定保健指導の推進
- 令和2年度保険料率への反映に係る、制度の丁寧な周知広報及び各指標の実施率向上に向けた取組

## 2. 基盤的保険者機能の推進

- 基盤的保険者機能を盤石なものとするため、業務の標準化・効率化・簡素化・効率化を徹底する。併せて、「山崩し方式」による業務の生産性を向上させるとともに、次期システム構想を見据えた業務処理体制の見直しを進める。

### 上期の総括

- 基盤的保険者機能の確実な実施
  - ・ 現金給付の適正化、効果的なしセプト点検等による医療費の適正化、加入者サービスの向上等の確実な実施
- 業務の標準化・効率化・簡素化の徹底
  - ・ 業務実態調査等により抽出した課題の整理
- 「山崩し方式」の定着化
  - ・ 支部職員へのアンケートの実施
  - ・ ガイドブック、各種ツール等の作成
- 「業務改革検討プロジェクト」の推進



### 下期の方針

- 基盤的保険者機能の確実な実施
  - ・ 協会方針に基づく確実な実施
- 業務の標準化・効率化・簡素化の徹底
  - ・ 業務マニュアル、手順書等の統一ルールに基づく事務処理の徹底
  - ・ 管理職による書類管理・進捗管理の徹底
  - ・ 曖昧な統一ルールの改訂
- 「山崩し方式定着活動」の推進
  - ・ ガイドブック、各種ツール等を活用した実践
  - ・ モデル支部でのコーチングの実践とコーチングリーダーの育成
- 業務改革推進計画の策定
  - ・ 業務改革推進計画の策定に向け、引き続き「業務改革検討プロジェクト」を推進

### 3. 組織・運営体制の強化

■ 保険者機能の基盤となる組織体制について、標準人員に基づいた人員配置を行うとともに、OJTを中心に据えた各種研修の充実により、自ら育ち組織を変えていける人材を育成する。また、内部統制の強化及びシステム運営の強化を行う。

#### 上期の総括

- 標準人員に基づく人員配置
  - ・ 標準人員への移行の最終年度となることから、10月の定期異動で支部の人員数が標準人員となるよう努めた
- 間接システムの刷新
  - ・ 刷新コンセプト(徹底的な業務の標準化による効率化、高度化及び紙ベースから電子ベースへの業務変革の実現)を基に、機能要件の策定、仕様書案の作成を実施
- OJTをベースに各種研修を組み合わせた人材育成の推進及び本部主催の階層別研修及び支部研修の充実に向けた取組
- 内部統制の検証
  - ・ 内部統制の整備・強化に向けての検証の実施
- システム運営の強化
  - ・ IT戦略推進室の設置
  - ・ RPAの本部導入
  - ・ 次期システム刷新に向けた調査・分析

#### 下期の方針

- 標準人員に基づく人員配置
  - ・ 定期異動後の各支部の状況を踏まえ、引き続き標準人員に基づいた適切な配置となるよう努める
- 間接システムの刷新
  - ・ システム開発事業者の調達を行う
  - ・ 事業者と協力して令和3年9月のサービスイン(予定)に向けたシステム開発を進めていく
- OJTを中心としつつ、階層別研修の継続実施、テーマ別研修、自己啓発の支援(通信教育の斡旋)、支部研修のさらなる充実に向けた取組を進める
- 内部統制の整備・強化
  - ・ 内部統制基本方針の策定
  - ・ 監事監査規程等の見直し
- システム運営の強化
  - ・ IT戦略推進室の本格稼働(10月～)
  - ・ RPAの支部展開
  - ・ 次期システム刷新に向けたIT施策の検討